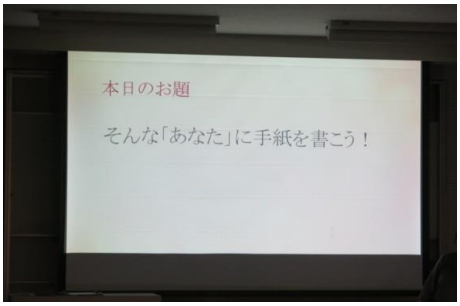
平成29年度第3学年　学年通信 『自立と協調～そして感謝と思いやり』	Boys and girls, be **Ambitious**	第28号（通算115号） 10月　17日

卒業する自分へ手紙を書きました！

10月13日（金）6限目の道徳で、「卒業する自分に手紙を書こう」ということで、シンガーソングライターの川嶋あいさんの人生を知るスライドや実際に歌っている映像を見ながら、卒業する自分へ手紙を書く取り組みをしました。

授業の序盤では「卒業式の日にどんな気持ちでいるだろう」という問いが順子先生から出され、「寂しい」、「あっという間だった」、「長かった」など、人によって同じ3年間でも捉え方が違うことを感じながら、卒業式当日の自分の姿を思い浮かべました。その後、川嶋あいさんのこれまでを紹介するパワーポイントを見ました。

ヒット曲に恵まれ、海外で学校建設活動も行うなど、順風満帆な人生を送っているように見える川嶋あいさん。しかし、彼女の幼少期には大変な苦労がありました。東京の音楽事務所に所属したものの、契約更新をされない挫折。路上ライブ活動を始めてからの挫折。思うようにいかない時期を過ごしながらも、何度も立ち上がり自分で目標を立ててクリアしていく姿はとても強く、じっと静かに画面を見つめる皆さんの姿が印象的でした。



紹介のパワーポイントを見終わったあと、川嶋あいさんが実際に「旅立ちの日に…」を歌うライブ映像を見ました。

彼女が路上ライブを行うなかで目標としていた渋谷公会堂でのライブ。誰も集まらなかった日々を乗り越え、念願の場所で、たくさんの人に自分の音楽を聴いてもらう。それは、彼女の努力の積み重ねがあったからこそ、叶ったのだと思います。

その後、教室へ戻り、卒業の日の自分に手紙を書きました。最初は「難しい…」、「なんて書けばいいんだ…」という人もいましたが、静かに自分と向きあうなかで文を書くことができていたように思います。

●川嶋あいさんの動画を見てとても感動しました。自分への手紙を書くのも楽しかったです。
●1年あっという間だなと感じました。入試までもそうだと思うので、しっかり勉強したいです。
●川嶋あいさんは、たくさん辛い思いをしたからこそ、こんなにすごいんだと思いました。

手紙を書く取り組みを振り返り、デイリーにはこのようなコメントが書かれていました。卒業まであと4か月ほどとなりました。「みんなで支え合って『良かった』と思える卒業にしてほしい」と順子先生から言葉があったように残りの西朝明中学校での時間を一つひとつ大切に過ごし、素敵な卒業を迎えてほしいと思います。